

コミュニティ助成事業により 瀬棚区町内会連合会が除雪機を配備

瀬棚区町内会連合会では、このほど、財団法人自治総合センターのコミュニティ事業の助成を受け、除雪機2台を配備しました。

このコミュニティ助成事業は、同センターが宝くじ受託事業収入を財源として、「住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進と地域の連帯感・自治意識の推進を図る」とともに、宝くじの普及広報を目的として行われているものです。

瀬棚区では毎年、冬期間になると高齢者も多く手作業での除排雪に苦勞しておりますが、今回の除雪機の整備で、希望する各町内会へ貸付し、町内会ぐるみでのボランティア活動による作業負担の軽減と効率化、冬期間安心して暮らせる住環境の確保を図られることが期待されます。

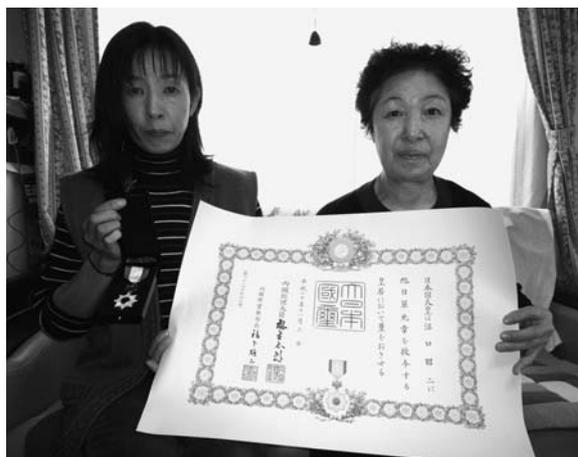


■ 問い合わせ先

瀬棚区町内会連合会事務局（担当：瀬棚総合支所総務税務課 早川、浜高） ☎ 0137-87-3311

叙勲受章者をご紹介します

旭日単光章



故 沼口 昭二 氏

北檜山区小倉山
元 北海道北檜山町議会議員

昭和50年4月、北檜山町議会議員に初当選、以来6期24年の永きにわたり在職し、地方自治の振興と住民福祉の向上に情熱を注ぎ、常に高邁な政治理念をもって、北檜山町の産業、教育文化の振興、民生の安定に多大な貢献をされました。

在職期間中は、文教民生常任委員会委員長、産業建設常任委員会委員長のほか、議会総合開発特別委員会副委員長、狩場葬斎組合議会議員などを歴任され多方面から地方自治の伸展に大きく寄与されました。



久保田 隆行（くぼた たかゆき）

せたな町立国保病院理学療法係
（理学療法士）

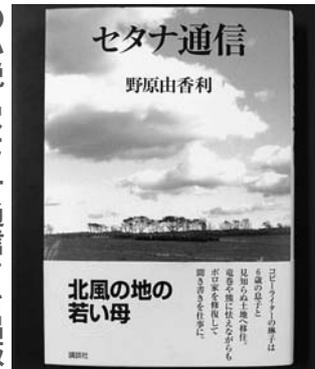
このたび、せたな町民となりました久保田隆行と申します。北海道という土地は初めてであり、地元新潟とは違う厳しい寒さに毎日驚いております。これからせたな町の良さをどんどん発見しながら生活をしていきたいと思っております。

新採用職員をご紹介します

皆さんどうぞ
よろしくお願
い
します!!

瀬棚区在住の文筆家

野原 由香利さん



講談社 1,575円(税込)

●小説「セタナ通信」を出版

瀬棚区在住の文筆家 野原由香利さんがこの度自身初となる小説「セタナ通信」を講談社から出版しました。

野原さんは、これまで酪農に関するノンフィクション作家と



して活躍。2004年、日本聞き書き学会の松浦武四郎賞を受賞しているほか、著書に「牛乳の未来」（講談社）、「草の牛乳」（農文協）などがあります。酪農家の生活や人生をもちこんだ小説を書いてみよう、と、知人の紹介で2007年秋せたな町瀬棚区に移住、旧瀬棚町を舞台にした小説を書き始めました。

この作品には、主人公の山中琳子が、子供と二人で農家の空き家に住み、都会では経験することのないような試練などに遭遇し、その度に周囲の人に助け



▲モデルになった農家の空家

られながら成長していく姿が描かれています。現在の地名などを使ったり、実際の人物をモデルにしたり、実際に取材された風車の話があったりと、瀬棚を知っている人が読むと、これは小説？どこまで実話なの？と思う人がいるかもしれません、そういうところも楽しみながら読んでもらいたい一冊です。

野原さんは、これからも酪農家の方々への取材、執筆活動などを続ける一方で、北海道の田舎を舞台に小説を書いていきたいと語ってくれました。ぜひ、「セタナ通信」の続編も読んでみたいですね。

プロフィール

2004年に日本聞き書き学会の松浦武四郎賞を受賞。「酪農ジャーナル」（酪農学園大学エクステンションセンター発行）に、聞き書きの「女性が支える放牧酪農」を連載中。

◆職員的人事異動◆

1月1日付けで人事異動を行いましたのでお知らせします。
() は前職

▼大成総合支所総務課長 補佐 辻 雄一（大成総合支所総務課長補佐兼総務係長）

▼大成総合支所総務課長 補佐 堀部 智美（大成総合支所総務課長補佐兼地域生活係）

▼大成総合支所総務課長 補佐 栄田 縁（大成総合支所総務課長補佐兼出納係）

▼大成総合支所町民福祉課長 補佐 兼 国保医療係長 高年齢者 田三恵子（大成総合支所町民福祉課長補佐兼国保医療係長兼高齢者医療係長）

▼大成総合支所町民福祉課長 補佐 兼 国保医療係長 高年齢者 奥村 こず恵（大成総合支所町民福祉課環境衛生係兼福祉係）